



注射しない インフルエンザ予防接種

今年の冬、鼻の中に噴霧するタイプのインフルエンザワクチン（商品名：フルミスト）が新しく登場します。日本では、フルミストを使用するメリットが大きいと思われる2歳以上19歳未満の方限定の予防接種となります。

噴霧器を使うため、痛みはなく、針への恐怖心ありません。また、1回の接種で済むため、従来の予防接種だと原則2回接種となる2歳から12歳のお子さんならびにそのご家族の通院回数を減らせるといったメリットもあります。そして、従来のワクチンの予防効果の期間は5か月前後ですが、フルミストは1年近く持続します。

副反応としては鼻炎症状が6割近くにみられるようです。あと、鼻の中に噴霧をする特性上、鼻づまりや鼻水が強かったり、接種時に大泣きして、たくさんの涙が鼻から出ている場合などに接種が困難となる状況が考えられます。

まだ発売前ということもあり、現時点では十分に情報のない医療機関が多い状況と思われますが、ご興味のある方は、今シーズンのインフルエンザ予防接種をご検討される頃に、一度かかりつけの医院にお問い合わせしてみてください。